

関係各位

令和3年度、第2回医療・介護合同研修会アンケート結果

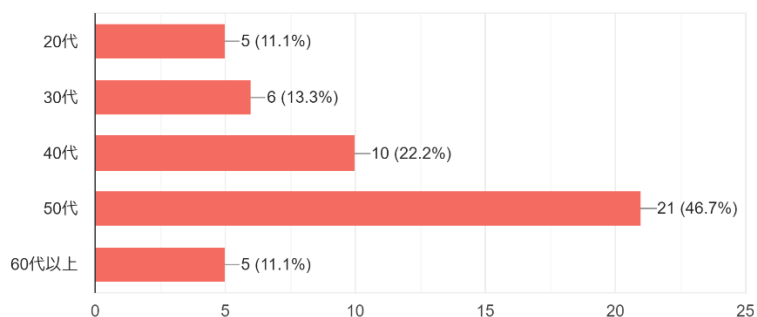
令和3年12月24日

豊川市退院調整担当者会災害対策グループ

今回の研修は91名の参加申し込みがあり、アンケートには45名の方にご協力を頂きました。

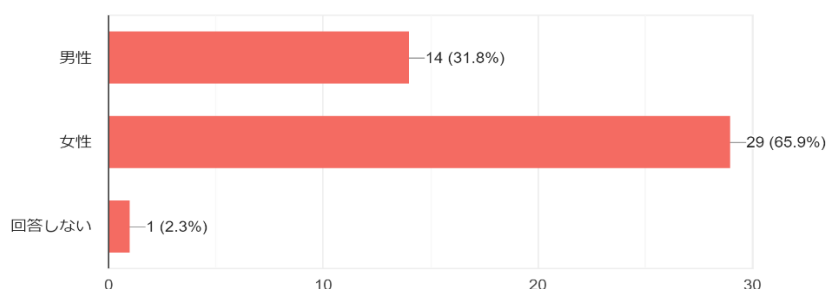
1.あなたの年齢について伺います。

45件の回答



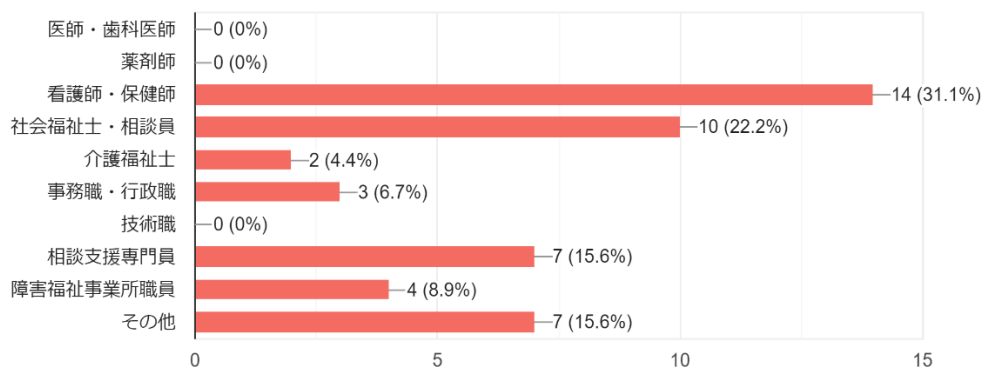
2.あなたの性別について

44件の回答



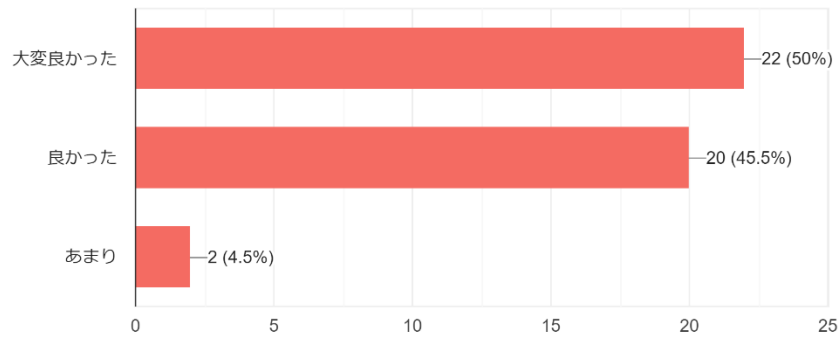
3.あなたの職業について

45件の回答



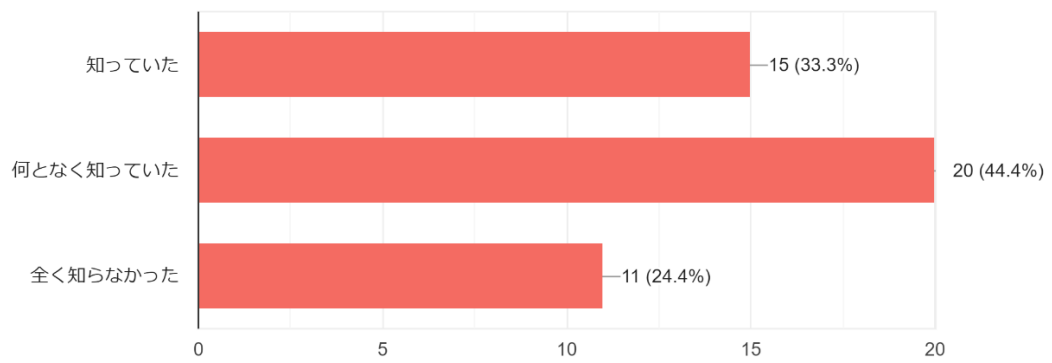
4.研修全体について

44件の回答



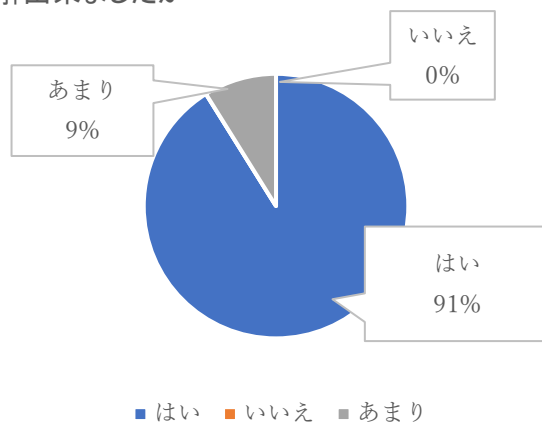
5.福祉避難所について知っていましたか

45件の回答



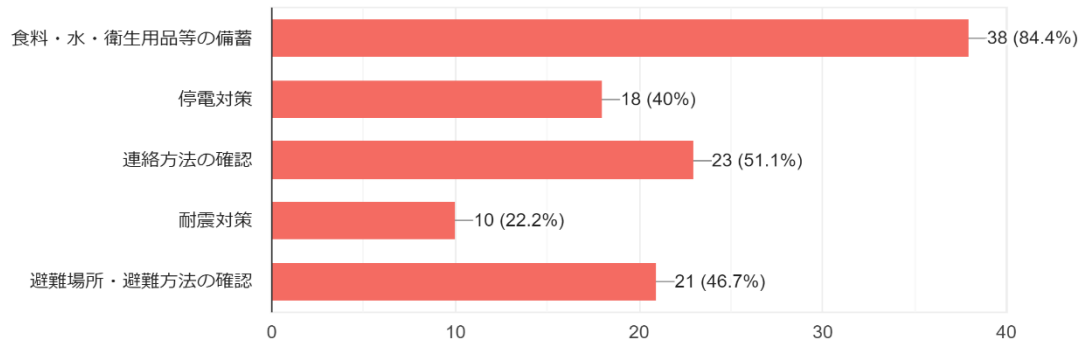
6.避難所及び福祉避難所について理解出来ましたか

避難所について理解出来ましたか

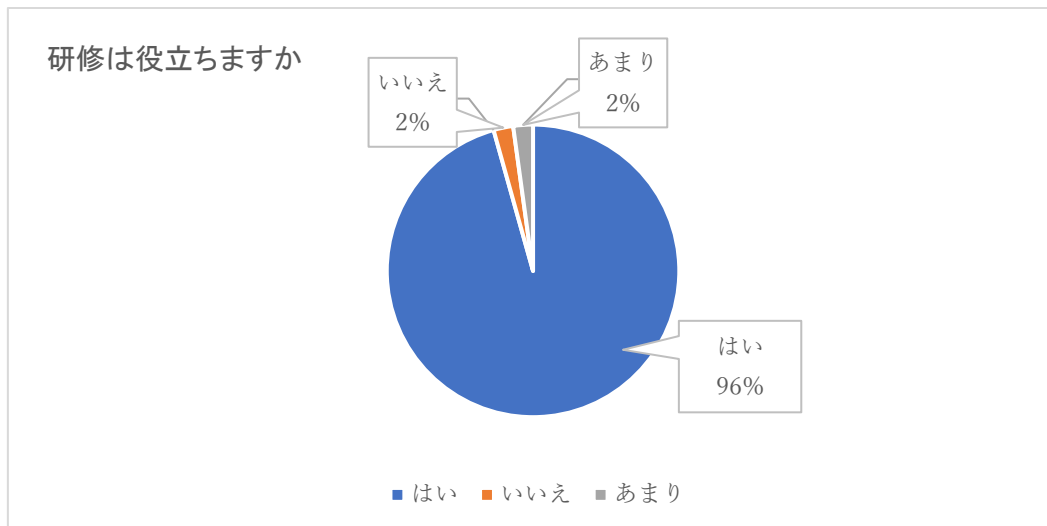


7.災害時の備えとして実施していることは何ですか？

45件の回答



8.今日の研修は役立ちますか



9.災害対策として明日から出来る事、必要だと思うことは何ですか、

まずは法人で共有。自分たちのことだけでなく、地域とどう役立てるかを考えていく。

まずは自助。

まずは自宅での対策をしておく事。それが地域で支援を必要としている方の助けにもなることを知り、小さなことでも役に立てるのだなと思った。

スタッフへの教育。

ソーラーパネルと蓄電池を購入しようかと思った。

ハザードマップを確認する。

事業所内で蓄電池か発電機かが必要と話し合ったばかりです。今日の研修を聞いて早急に検討する必要があると感じました。

事業所職員の災害に対する意識を高めること。

個別避難計画の作成を検討していきたいです。

備蓄品のチェック。

利用者さんなどの避難場所の確認を呼びかける。

地域の協力。

家族単位での備蓄や連絡方法の共有。又、同じ避難所に高齢者の方がいらっしゃった際のお手伝い。

市の防災計画の再確認。

情報取得の方法について確認、用意。

施設防災活動計画の策定。

皆で共有する。

自事業所も対策を検討していく。又、クライシスプランを生きたもの出来るよう常日頃からご利用者様に意識して頂くように声掛けをする。

自分自身、家族、自宅からの災害対策。

避難所の確認(2名)

避難経路の確認。避難のシミュレーション、災害について常に心構えをしておく気持ち。

関係者と情報を共有していくこと。

10.その他意見

福祉避難所のことは知っていたが、改めて今日の研修で必要性と課題について理解することができたと思う。

大変貴重なアンケート調査により、課題が洗い出され、それをこういった研修で情報共有してくださりありがとうございました。

大変わかりやすかったです。

勉強になりました。ありがとうございました。

市内の現状がよくわかり、とてもいい機会になりました。資料、訓練風景の動画もわかりやすかったです。ありがとうございました。

とても大切なことをわかりやすく教えてくださりありがとうございました。介護医療福祉分野の方のみでなく、多くの方に知っていただく必要性のある内容だと思いました。

改めて自分に何ができるのか、また当事者視点に立った際、何が気になるのかを改めて考えられました。

障害と介護の合同研修でも災害について取り上げられていて、その時に福祉避難所のことをしました。単に「福祉設備の整った避難所」くらいの認識でしたが、ちゃんとスクリーニングがあるのですね。ただ、あまり知られていない基準だとは思うので、「とにかく何か配慮してもらえそう！」との気持ちでいらっしゃるのかも、と感じました。

さらに知識や経験を積むことが要配慮者への配慮となる。

福祉避難所の開設訓練の様子、大変参考になりました。

大変良かった。知らなかった事がたくさんあり勉強になりました。

今回の研修の目的がよく分からなかった

豊川市の在宅医療患者、家族は、災害時は避難所より病院を選択することになりそう。病院の受け入れ体制については疑問。

大変貴重な機会をありがとうございました。本日の1時間という時間では話きれない部分が多々あったかと思います。可能であれば、もっと豊川市全体で聞けるように参加の声掛けなども協力できればと思いました。

大変参考になりました。ありがとうございました。

文責：豊川市医師会在宅医療サポートセンター 柳生